

乳がん検診について

乳がんってどんな病気？

乳がんは、乳房にある乳腺（母乳を作る場所）に発生する悪性腫瘍です。症状としては、しこり、乳頭から血やうみが出る、乳首の陥没、皮膚のくぼみ、痛み脇の下にしこりなど実に様々です。現在、日本人女性の 1/25 人が生涯の間に乳がんにかかると言われていています。

残念ながら乳がんの予防法はありません。早期発見早期治療が最善の対策法と言われています。ごく早期なら 95%、しこりが小さいうちに見つけ治療すれば 90%近くが治ります。早期発見のためにもマンモグラフィー（乳房 X 線撮影装置）による定期検診をおススメいたします。

南草津野村病院で検診が受けられます

当院の関連施設である南草津野村病院（草津市野路）にて、乳がん検診が受けられます。

また、乳がん検診と子宮がん検診を同日 2 つ一緒に受けることも可能です。

検診は予約制です。ご希望の方は、南草津野村病院までお電話にてお問い合わせください。

TEL： 077-561-3788（受付時間：月・水・金 9：00～17：00 火・木・土 9：00～11：00）

乳がん検診の内容

| | |
|-----------|--|
| 問診 | 最近の身体の調子や病気に関する質問があります。 年齢、生理周期などの月経の状況、妊娠や分娩、授乳の経歴、家族にがんになった人がいるかどうか、これまで検診を受けたことがあるかどうか、受けていた場合にはどんな判定や診断であったかなどをお尋ねします。 |
| 視診 | 医師が目で乳房を観察してくぼみがないか、手で触れてしこりがないか、リンパ節が腫れていないか、乳頭から分泌物がないかなどを観察します。触診で発見できるものは、ある程度の大きさになったしこりです。しこりがすべて乳がんというわけではありませんが、視触診だけに頼っていると、しこりが乳がんであった場合、ある程度の大きさにならないと発見できない可能性があります。 |
| マンモグラフィ検査 | 乳房をプラスチックの板ではさんで平たくし、乳房専用の X 線装置で乳房全体を撮影します。基本的に 1 方向か 2 方向から撮影します。40 歳代は乳腺密度が高い人が多いため 2 方向、50 歳以上は 1 方向からの撮影としているところもあります。 医師の触診や自己チェックでは発見できないしこりや、石灰化のある小さな乳がんの発見に適しています。 |

マンモグラフィ検査の特徴

- マンモグラフィ単独、もしくは視触診との組み合わせで、死亡率減少効果を示すことが証明されています。
- 検査の感度（がんをがんだと判断できる精度）は 80%前後といわれています。
- 視触診だけでは発見できないしこりや、石灰化のある小さな乳がんを発見できます。
- 乳がん以外に、乳房の良性疾患なども発見できます。

検診の費用について

検診は自費です。料金については、ご予約の際にご説明いたします。